

加賀 義隆

東京工業大学大学院社会理工学研究科 博士後期課程

高齢者の社会貢献の場としての NPO 法人の課題に関するゲーム理論による分析

これまで高齢者が社会貢献する場としての特定非営利活動促進法に基づく NPO 法人において、人的マネジメントの質に関する研究は多くはない。本研究は草の根的 NPO 法人の高齢者の活動参加の意思決定について焦点をあて、その葛藤の確認と生じる仕組みをゲーム理論で分析する。調査は内閣府認証 NPO 法人に限定し、3つの年代（ヤング年代、ミドル年代、シニア年代）に分けてミドル年代とシニア年代を対象とした活動動機に関する手紙方式のアンケート調査を行った。ゲーム理論で分析した結果、会員をミドルとシニアの年代に分けた場合、2つの年代共に活動参加を決める時に葛藤が生じている。利他的傾向と利己的傾向の価値観に分けた場合、2つの間には機会損失の因子に異なる傾向があり、利得表では利己的傾向の会員は不参加を選択する方に利得があることが分った。利己的傾向の会員に葛藤を生じさせない人的マネジメントが必要と考えられる。